

大網歯科医院:大網歯科医院単独型研修プログラム

I) プログラムの名称

大網歯科医院単独型研修プログラム

II) 大網歯科医院単独型研修プログラムの特徴と概要

大網歯科医院では、一般歯科の他、口腔外科・矯正専門医が在籍しており、包括的な沢山の症例が研修できるようにプログラムを組んでいます。

また、研修協力施設と連携し、全身との関わりを考えながらの歯科治療をすることを目標とします。

加えて安全管理、感染予防など医院管理についても学ぶことができます。

一般歯科診療に加え、地域医療に望まれるノーマライゼーションを目指し、身障者、介護を必要とする患者を対象とした療育支援プログラムを形成しているために、地域医療中核病院、介護療養型医療施設、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、精神障害者社会復帰施設等の訪問歯科診療に同行し、実際の歯科治療に参加して、今後需要が増大する医療分野に積極的に参加出来るようになる為の基礎を習得する事も目標としています。

大網歯科医院単独型研修プログラムについて、管理型施設である本院において「腰を落ち着けて深く研修する」一年間の研修を行うことにより、定期通院する患者の症状経過に沿った一連の治療計画を学びます。

III) 歯科医師臨床研修のねらい

1. 歯科医師として好ましい態度・習慣を身に付け、患者及び家族とのよりよい人間関係を確立する。
2. 全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
3. 歯科疾患と障害の予防及び治療における基本的技能を身に付ける。
4. 一般的によく遭遇する応急処置と、頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
5. 歯科診療時の全身的偶発事故に適切に対応する。
6. 自ら行った処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度・習慣を身に付ける。
7. 専門的知識や高度先進的歯科医療に目を向け、生涯研修の意欲への動機付けをする。
8. 歯科医師の社会的役割を認識し、実践する。

IV) 施設概要

1. 単独型臨床研修施設

- 1) 施設名 医療法人社団 千歯会 大網歯科医院
- 2) 所在地 千葉県大網白里市みやこ野 2-2-1
- 3) 開設者 医療法人社団千歯会 理事長 秋庭弘和
- 4) 管理者 院長 刑部 順
- 5) 研修プログラム責任者 院長 刑部 順
- 6) 指導歯科医 院長 刑部 順 ・ 理事長 秋庭 弘和
- 7) 事務責任者 事務局長 川口 真介
- 8) 施設の概要 (令和2年4月1日 現在)
歯科医師数 : 常勤4人 非常勤8人
ユニット : 11台
- 9) 施設の特徴
昭和61年2月17日開設
ホームページアドレス:<http://sensikai.jp/oami/>

2. 研修協力施設

- 1) 施設名 片貝デンタルクリニック
 - ① 所在地 : 千葉県山武郡九十九里町片貝 2380
 - ② 研修実施責任者 三上 久里子
 - ③ 指導歯科医 三上 久里子
- 2) 施設名 おゆみ野総合歯科クリニック
 - ① 所在地 : 千葉県千葉市緑区おゆみ野 4-3-9
 - ② 研修実施責任者 大橋 智行
 - ③ 指導歯科医 大橋 智行
- 3) 施設名 江沢歯科クリニック
 - ① 所在地 : 千葉県大網白里市駒込444-3
 - ② 研修実施責任者 江澤 義隆
 - ③ 指導歯科医 江澤 義隆
- 4) 施設名 東京歯科大学千葉歯科医療センター
 - ① 所在地 : 千葉市美浜区真砂 1-2-2
 - ② 研修実施責任者 柴原 孝彦
 - ③ 指導歯科医 柴原 孝彦
- 5) 施設名 東千葉メディカルセンター
 - ① 所在地 : 千葉県東金市丘山台三丁目6番地2
 - ② 研修実施責任者 伏見 一章

- ③ 指導歯科医 伏見 一章
- 6) 施設名 東京歯科大学水道橋病院
 - ① 所在地 : 東京都千代田区神田三崎町2-9-18
 - ② 研修実施責任者 古澤 成博
 - ③ 指導歯科医 柴原 孝彦

V) プログラムの管理運営体制

歯科医師臨床研修管理委員会を設置し、プログラムの管理運営を行う

1. 研修管理委員会の名称と構成

名称 : 歯科医師臨床研修管理委員会

構成 :

研修管理委員長	院長	刑部 順
プログラム責任者	院長	刑部 順
副プログラム責任者	理事長	秋庭 弘和
事務責任者	事務	宇野 亜紀
外部委員	渡辺法律事務所 弁護士	渡辺 寛之
研修実地責任者		
東京歯科大学千葉歯科センター	口腔外科・教授	柴原 孝彦
東千葉メディカルセンター	口腔外科	伏見 一章
東京歯科大学水道橋病院	保存科	古澤 成博
江沢歯科クリニック	院長	江澤 義隆
片貝デンタルクリニック	院長	三上 久里子
おゆみ野総合歯科クリニック	院長	大橋 智行

2. 歯科医師臨床研修管理委員会の業務

歯科医師の卒後臨床研修に関する重要事項を審議決定する機関として、歯科医師臨床研修管理委員会を置く。

歯科医師臨床研修管理委員会は、当医療法人の理事長を委員長とし、院長・副院長のほか、理事(事務責任者)、及び外部委員・研修実施責任者より構成し、円滑かつ効果的な臨床研修を行うために、毎年3月、9月に、研修管理委員会を開催し研修評価を行い、それに基づいて研修プログラムを協議、計画を立て、必要な修正を行う。

更に歯科医師臨床研修管理委員会では、臨床研修の指導、監督及び、到達目標への達成度、採用、中断、修了の評価等についても具体的に検討するものとする。

委員会は、医院の過半数の出席がなければ開会することが出来ない
委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決する
ところとする。

3. 研修指導体制と医療事故への対応

単独型臨床研修施設及び研修協力施設における指導歯科医のもとで、基礎的な知識、手
技並びに全身的な治療管理を習得させる。

また、医療事故への対応については、診療に関わる医療事故の主たる責任は、主治医が
負うが、研修歯科医は責任を自覚し、すべてを報告する。

特に重大事故発生の場合は、直ちに指導歯科医に連絡し、その指示を仰ぐものとする。

4. 委員会は、医院の過半数の出席がなければ開会することが出来ない

委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決する
ところとする。

VI) 研修期間、場所等

研修期間は 西暦 2021 年4月1日から西暦 2022 年3月31日までの1年間とする。

1年間、当院での診療を中心にして臨床研修を行う。

(基本習熟コース、基本習得コースに特別研修を組み込みながら研修)

5月～2月のうち、2週間～1ヶ月を、研修協力施設での研修。

・研修協力施設での全身管理研修は必須。

(東千葉メディカルセンターまたは東京歯科大学水道橋病院での病棟実習・2週間)

・研修医の希望で江沢歯科クリニック、片貝デンタルクリニック、おゆみ野総合歯科クリニック
へ研修(最大2週間)も行う。

江沢歯科クリニック： 「基本習熟コース」のうち、「高頻度治療」
幼少時予防歯科に注力したカリエスフリーの実践

片貝デンタルクリニック： 「基本習熟コース」のうち、「医療管理・地域医療」
「基本習得コース」のうち、「医療安全・感染予防」
「地域医療」

おゆみ野総合クリニック： 「基本習熟コース」のうち、「医療管理・地域医療」
「基本習得コース」のうち、「医療安全・感染予防」
「地域医療」

研修内容

1. 西暦 2021 年4月

職務規定・院内業務・IT 業務マニュアルを学習
カルテ、文書記載方法の学習

スタッフとのチーム医療、地域との連携について学習
一般社会人マナー

2. 西暦 2021 年5月～西暦 2022 年3月

「基本習熟コース」

- 1) 医療面接
- 2) 総合診療計画
- 3) 予防・治療基本技術
- 4) 応急処置
- 5) 高頻度治療
- 6) 医療管理・地域医療

「基本習得コース」

- 1) 救急処置
- 2) 医療安全・感染予防
- 3) 経過評価管理
- 4) 予防・治療技術
- 5) 医療管理
- 6) 地域医療
- 7) 全身管理(研修協力施設におけるの病棟研修)

VII) 到達目標

「基本習熟コース」については、研修歯科医自らが確実に実践できることが基本であり、臨床研修修了後に習熟すべき「基本習得コース」については、頻度高く臨床において経験する。
外来症例数 40 例、訪問症例数 1 例、レポート数4例、発表数1例を目標とする。

1. 歯科医師臨床研修「基本習熟コース」

【一般目標】

個々の歯科医師が患者の立場に立った歯科医療を実践できるようになるために、基本的な歯科診療に必要な臨床能力を身に付ける。

1) 医療面接

【一般目標】

患者中心の歯科診療を実施するために、医療面接についての知識、態度及び技能を身に付け、実践する。

【行動目標】

- ① コミュニケーションスキルを実践する。
- ② 病歴(主訴, 現病歴, 既往歴及び家族歴)聴取を的確に行う。
- ③ 病歴を正確に記録する。
- ④ 患者の心理・社会的背景に配慮する。
- ⑤ 患者・家族に必要な情報を十分に提供する。
- ⑥ 患者の自己決定を尊重する。(インフォームドコンセントの構築)
- ⑦ 患者のプライバシーを守る。
- ⑧ 患者の心身におけるQOL(Quality Of Life)に配慮する。
- ⑨ 患者教育と治療への動機付けを行う。

2) 総合診療計画

【一般目標】

効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合治療計画の立案に必要な能力を身に付ける。

【行動目標】

- ① 適切で十分な医療情報を収集する。
- ② 基本的な診察・検査を実践する。
- ③ 基本的な診察・検査の所見を判断する。
- ④ 得られた情報から診断する。
- ⑤ 適切と思われる治療法及び別の選択肢を提示する。
- ⑥ 十分な説明による患者の自己決定を確認する。
- ⑦ 一口腔単位の治療計画を作成する。

3) 予防・治療基本技術

【一般目標】

歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために、必要な基本的技術を身に付ける。

【行動目標】

- ① 基本的な予防法の手技を実施する。
- ② 基本的な治療法の手技を実施する。
- ③ 医療記録を適切に作成する。
- ④ 医療記録を適切に管理する。

4) 応急処置

【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、応急処置を要する症例に対して、必要な

臨床能力を身に付ける。

【行動目標】

- ① 疼痛に対する基本的な治療を実践する。
- ② 歯、口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。
- ③ 修復物、補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する。

5) 高頻度治療

【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。

【行動目標】

- ① 齲蝕の基本的な治療を実践する。
- ② 歯髄疾患の基本的な治療を実践する。
- ③ 歯周疾患の基本的な治療を実践する。
- ④ 抜歯の基本的な処置を実践する。
- ⑤ 咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。

6) 医療管理・地域医療

【一般目標】

歯科医師の社会的役割を果たすため、必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身に付ける。

【行動目標】

- ① 保険診療を実践する。
- ② チーム医療を実践する。
- ③ 地域医療に参画する。

2. 歯科医師臨床研修「基本習得コース」

【一般目標】

生涯にわたる研修を行うために、より広範囲の歯科医療について知識、態度及び技能を習得する態度を養う。

1) 救急処置

【一般目標】

歯科診療を安全に行うために、必要な救急処置に関する知識、態度及び技能を習得する。

【行動目標】

- ① バイタルサインを観察し、異常を評価する。
- ② 服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。
- ③ 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。
- ④ 歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。
- ⑤ 一次救命処置を実施する。
- ⑥ 二次救命処置の対処法を説明する。

2) 医療安全・感染予防

【一般目標】

円滑な歯科診療を実施するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度及び技能を習得する。

【行動目標】

- ① 医療安全対策を説明する。
- ② アクシデント及びインシデントを説明する。
- ③ 医療過誤について説明する。
- ④ 院内感染対策(Standard Precautionsを含む。)を説明する。
- ⑤ 院内感染対策を実践する。

3) 経過評価管理

【一般目標】

自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識、態度及び技能を習得する。

【行動目標】

- ① リコールシステムの重要性を説明する。
- ② 治療の結果を評価する。
- ③ 予後を推測する。

4) 予防・治療技術

【一般目標】

生涯研修のために必要な専門的知識や高度先進的技術を理解する。

【行動目標】

- ① 専門的な分野の情報を収集する。
- ② 専門的な分野を体験する。
- ③ POS(Problem Oriented System)に基づいた医療を説明する。
- ④ EBM(Evidence Based Medicine)に基づいた医療を説明する。

5) 医療管理

【一般目標】

適切な歯科診療を行うために、必要となるより広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。

【行動目標】

- ① 歯科医療機関の経営管理を説明する。
- ② 常に、必要に応じた医療情報の収集を行う。
- ③ 適切な放射線管理を実践する。
- ④ 医療廃棄物を適切に処理する。

6) 地域医療

【一般目標】

歯科診療を適切に行うために、地域医療についての知識、態度及び技能を習得する。

【行動目標】

- ① 地域歯科保健活動を説明する。
- ② 歯科訪問診療を説明する。
- ③ 歯科訪問診療を体験する。
- ④ 医療連携を説明する。

7) 全身管理

【一般目標】

全身との関わりを考えながらの、歯科治療を習得する。

【行動目標】

当院の口腔外科専門医により、全身管理と歯科治療の関わりを説明する。
東千葉メディカルセンターまたは東京歯科大学水道橋病院にて病棟研修を行う。

(必須)

《病棟研修の内容は以下のとおりである》

- ① 口腔外科病棟において、入院下での患者の治療・管理に、担当医のチームの一員として参加する。
- ② 入院患者の担当医となり、指導歯科医と共に、治療計画、患者説明、手術周術期管理、担当指導を行う。
- ③ 静脈内鎮痛法患者の麻酔・全身管理担当として、治療計画、患者説明、麻酔管理、周術期管理、退院指導を行う。
- ④ 電子・又は紙カルテを使用した医療管理について研修を行う。

3. 特別研修

【一般目標】

本院では、一年を通じて社会人としての必要なマナーを習得する。

【行動目標】

- ① 一般社会人として必要な身だしなみや態度を確認する。
- ② 老若男女を理解した上での、治療の説明を使い分ける技術を、学習・習得する。

VIII) プログラム修了の認定

歯科医師臨床研修管理委員会は、プログラムの評価項目についての研修歯科医の自己評価法及び指導歯科医による客観的評価に基づき、当初の到達目標に達したか否かを討議し、最終的に歯科医師臨床研修管理委員会が研修修了を認定し修了証を授与する。

IX) 研修歯科医の処遇

身分	:	研修歯科医（常勤）
給料	:	月額 232,000円（賞与100,000円 時間外手当なし）
勤務時間	:	単独型臨床研修施設(大綱歯科医院)での勤務時間 (院内)月～土: 9:00～13:00 14:30～18:30 (訪問)月～土: 9:00～18:00 (休憩1時間) 研修協力施設(東京歯科大学千葉歯科医療センター)での勤務時間 平日: 9:00～17:00 土曜:9:00～14:00 研修協力施設(東千葉メディカルセンター)での勤務時間 月～土:8:30～12:00 13:00～17:15 研修協力施設(東京歯科大学水道橋病院)での勤務時間 月～金:9:00～17:00 (休憩1時間) 研修協力施設(江沢クリニック)での勤務時間 月～土:9:00～12:30 14:00～18:00 研修協力施設(片貝デンタルクリニック)での勤務時間 (院内診療時)月～土: 8:45～12:30 14:00～18:15 (訪問診療時)月～土: 9:00～18:00 (休憩1時間) 研修協力施設(おゆみ野総合歯科クリニック)での勤務時間 (院内診療時)月～土: 9:00～13:00 14:30～18:30 (訪問診療時)月～土: 9:00～18:00 (休憩1時間)
研修歯科医手帳	:	有
休日	:	日曜日、祝祭日、年次有給休暇、 キャリアアップ特別休暇(申請許可制)

		完全週休二日制(シフト及び研修医希望日を考慮)
宿舎	:	有り
住宅補助	:	月 30,000 円
当直	:	無し
診療所内の部屋	:	有り
保険	:	歯科医師国保、厚生年金、雇用・労災保険適用。 歯科医師賠償責任保険
健康管理	:	健康診断(年一度) B 型肝炎・インフルエンザの予防接種促進(補助金あり)
その他	:	研修会参加可(研修参加費・交通費支給)

X) 研修歯科医の募集及び採用方法

募集定員	:	2 名
募集資格	:	歯科医師免許取得見込みの者
出願締め切り	:	西暦 2021 年9月30日
出願書類	:	履歴書、卒業見込み証明書、健康診断書
選考方法	:	面接及び書類審査。

XI) 募集連絡先・資料請求元

医療法人社団 千歯会 大網歯科医院
〒299-3236 千葉県大網白里市みやこ野 2-2-1
TEL 0475-72-6480
FAX 0475-72-8059
Email: reception@sensikai.jp